

令和3年度学校評価報告書

令和4年3月31日

1 本年度の重点目標

- (1) 基本的生活習慣、規範意識を定着させ、自らを律し、他者と協働できる力の育成に努める。
- (2) 主体的な進路選択と実現が果たせるよう、主体的に学び、問題の発見・解決に資する力の育成に努める。
- (3) 生命を尊ぶ態度、健康・安全・福祉に係る意識を高揚し、健やかな心身の育成に努める。
- (4) 教職員間で業務の在り方、見直しを話し合う機会を設け、校内業務の適正化を図ると共に、「育成を目指す資質・能力」がどれだけ身に付いたかを検証し、教育活動の改善に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・授業の中抜けは減りつつあるが、一部の教科において規律ある学習態度の維持が困難になる様子も見られた。全体での情報共有と共通理解に基づき、落ち着いた学習環境で授業が展開できるよう、今後も指導の継続が必要。 ・新学習指導要領への移行、実施に向けて授業公開および校内研修会を実施し、ICTを活用した授業実践や観点別評価の整備を進めた。学校全体として、授業改善や評価方法の工夫につなげるためには、さらなる共通理解の深化や研修の設定が必要。 ・外部講師の活用や地域と連携した学習活動の実践等、教科・科目ごとに工夫や改善がなされている。これからも教科横断的な学習を拡大させ、生徒の主体的な学びを充実させる。	・国立大学への進学や看護学校をはじめとする各種専門学校への進学など、学力の向上、定着の状況もうかがえる。今後も生徒の様々な進路ニーズに応じた確かな学力が身につけられるよう、授業改善を含めた、学習指導、充実に努めていただきたい。 ・ICTを活用した学習のさらなる充実など、今後の社会情勢や社会の仕組みに合わせた指導の充実を図っていただきたい。 ・地域の学校として、地域を支える人材育成を主眼に、今後も地域の教育資源を有効に活用した、実際の、実践的な学習の推進をお願いしたい。
改善方策	・総合学科として、生徒の様々な進路ニーズに対応できる教育課程の編成や選択科目の開設、授業改善など、現職員体制の中ですらう創意工夫を講じ、教育充実、改善を図る。また、今後も地域連携を推進し、地域の人的・物的な教育資源を有効に活用し、生徒の進路ニーズの拡大や学習意欲の向上につながる教育環境構築に努める。	
生徒指導	・さらなる生徒の規範意識向上を目的として、生徒に身につけさせることや生徒心得などの校内ルールについて生徒、保護者、教員の共通理解を図る取組を進めていく。 ・教育相談の充実や教育活動で意図的に自己有用感を高める取組の促進を図り、豊かな心身の育成を進めてきた。さらに生徒理解を深めるため全教職員の意識向上を図る取組を進めていく。 ・部活動の加入率が飛躍的に向上した。次年度は、さらなる活動内容の充実を図る。学校祭などの生徒会行事は、コロナ禍だが生徒と教員で感染対策を講じながら充実させることができた。	・以前に比べ生徒の様子も落ち着いてきたと認識している。今後も学校、家庭、地域で連携した生徒指導の推進、社会性の育成を図っていただきたい。 ・全生徒への全員面談の実施など、生徒の心の育成、問題行動の未然防止などの観点から評価している。今後も継続していただきたい。 ・部活動を核とした、生徒指導の充実もあるかと考える。部活動の活性化と共に、活動、指導充実も目指していただきたい。
改善方策	・学校、家庭、地域が連携した生徒指導の推進を図るために、学校からの適切な情報発信・情報共有に努め、共通理解に基づいた一体感、統一感ある生徒指導を推進していく。 ・部活動のさらなる充実に努め、部活動指導員等を活用も検討した内容、指導の充実を図る。	
進路指導	・コロナ禍で指導計画通りにいかない点はあったが、実施内容が効果的に展開できたかを検証し、優先順位をつけながら次年度に向けて新しいキャリア教育プランを策定していく。 ・昨年度からCLの内容精選及び展開方法を見直した。総合学科研究会などで得た情報等を参考に進路シラバスを見直し、生徒にとって主体的な進路選択ができるように展開していく。 ・関係機関との連携はスムーズに行われた。多様な情報提供が進路意識の高揚につながっている。生徒一人一人の人生設計を意識して安易な進路選択にならないように注意していく。	・年次ごとの指導内容をより精査し、3年次での進路実現を目指した、系統的な指導を願う。 ・キャリア教育の推進に向け、関係機関や地域資源を有効的に活用し、多様な進路ニーズに対応した、実践的な指導を目指していただきたい。 ・生徒一人一人の多様な進路希望に対して、学校、家庭、また地域、関係機関も含めて、共通理解のもと、進路実現に向け尽力してもらいたい。
改善方策	・1年次からの生徒、家庭に向けた進路に関する情報発信に努め、生徒、家庭の進路に関する意識の醸成を図る。 ・進路指導、キャリア教育に関する、3年間を見通した指導の在り方を整理し、改めて生徒、保護者への周知理解を図る。	
公表方法	・評価結果をまとめて、教職員に対して会議にて公表説明した。 ・外部には本校ホームページ上に掲載した。	